

“海とみなと”をウォッチング 船から身近に見られる見学会

— 高知の産業の活力を味わおう! —

我が国の鉄鋼産業に不可欠な石灰石や工場の電力供給に必要な石炭のほか、コンテナ航路による外国(韓国・中国)との貿易など、‘みなと’が持つ機能は地域の産業活動を支えています。

高知港と須崎港では、普段なかなか見ることが少ない、“海からの景色”を港湾業務艇「とさかぜ」により見学し、「みなと」に親しみと魅力を感じていただけます。「とさかぜ」による現場見学会は、随時受け付けています。また、毎年7月～8月にかけて開催される「高知みなとまつり」の行事の一環として、7月下旬に高知港及び須崎港で「みなとウォッチング」を行っています。

見学会開催期間

通年 要相談
(9:00～16:00)
但し、土日祝祭日除く

お問い合わせは次のところまで。

高知港湾・空港整備事務所

TEL 088-847-3512

<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/kouchi/index.html>



▲高知港みなとウォッチング(石炭積み替えの様子)

景勝地「桂浜」も
ご覧いただけます!

▼「浦戸大橋」下からの眺め



▼高知港に就航するコンテナ船



▲須崎港に就航するセメント船



▲須崎港で荷役作業中の貨物船(原木)

高知港、須崎港みなとウォッチング見学者からの声(アンケートより)

- ・湾内がどのようなになっているのか今まで知りませんでしたが、一つ一つの施設について教えてくれたのでよくわかりました。
- ・普段目にしていない建物の役割や港の事が知れて良かった。海側から高知を見る機会がありませんので、いい体験でした。
- ・とても楽しく見学させていただき海を満喫しました。
- ・次回も応募したいです。こういう機会を増やしてほしい。



インフラ
ツーリズム